

2021年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年3月16日

上場会社名 フリービット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3843 URL <https://freebit.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO 兼 CTO (氏名) 石田 宏樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ経営企画本部長 (氏名) 和田 育子 TEL 03-5459-0522
 四半期報告書提出予定日 2021年3月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（動画配信のみ）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第3四半期の連結業績（2020年5月1日～2021年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第3四半期	39,301	△1.9	3,202	167.3	3,318	198.0	2,168	—
2020年4月期第3四半期	40,060	17.4	1,198	△26.4	1,113	△13.9	△238	—

(注) 包括利益 2021年4月期第3四半期 3,040百万円（—） 2020年4月期第3四半期 143百万円（△44.2%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第3四半期	100.57	—
2020年4月期第3四半期	△10.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第3四半期	33,051	12,635	28.5
2020年4月期	42,472	10,848	19.0

(参考) 自己資本 2021年4月期第3四半期 9,417百万円 2020年4月期 8,079百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年4月期	—	0.00	—	—	—
2021年4月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
現時点において2021年4月期の期末配当予想については未定であります。

3. 2021年4月期の連結業績予想（2020年5月1日～2021年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	△6.0	2,400	△7.3	2,300	△7.3	750	—	34.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年4月期3Q	23,414,000株	2020年4月期	23,414,000株
② 期末自己株式数	2021年4月期3Q	2,422,169株	2020年4月期	1,470,123株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年4月期3Q	21,562,792株	2020年4月期3Q	22,199,816株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算の概要説明の入手若しくは閲覧の方法）

- ・ 四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示を行うとともに当社ウェブサイトにも掲載する予定です。
- ・ 四半期決算の概要説明及び新中期経営計画骨子の進捗は、その記録動画を当社ウェブサイトに速やかに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

「経営成績に関する説明」において使用する名称の正式名称及びその説明は、下記のとおりであります。

使用名称	正式名称	説明
DTI	株式会社ドリーム・トレイン・インターネット	当社連結子会社
ギガプライズ	株式会社ギガプライズ	当社連結子会社
フォーメンバーズ	株式会社フォーメンバーズ	当社の元連結子会社
フリービットEPARKヘルスケア	株式会社フリービットEPARKヘルスケア	当社の元連結子会社で、現株式会社くすりの窓口
アルク	株式会社アルク	当社の元連結子会社
インターネットインフラカテゴリ	-	当社グループのインフラテック事業、不動産テック事業の総称
SNS	Social Networking Service	インターネットを利用して社会的ネットワークを構築可能にするサービスで、ソーシャルメディアの1つ
MVNO	Mobile Virtual Network Operator	仮想移動体通信事業者
トーンモバイル	-	DTIが提供するスマートフォンサービス
PWINS	Plug-in Wi-Fi Network Systemの略(略称: ビーウィンズ)	ギガプライズが提供する、Wi-Fi機器交換を行う際のコスト・工期の大幅縮小を実現した集合住宅向けWi-Fiアクセスポイント
GIGA Direct Connect	ギガダイレクトコネクト	高品質で安全性の高い光ファイバー専用線を利用することで、他の利用者と回線を共用しないため、より安心・安全にインターネット環境を提供する専用線型インターネット接続サービス
インフルエンサー	Influencer	SNSなどにおいて、他の消費者の購買意思決定等、世間に大きな影響力を与えるキーパーソン

当第3四半期連結累計期間においては、フォーメンバーズ、フリービットEPARKヘルスケア及びアルクを連結の範囲から除外したことに加え、アドテック事業への新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響もあり、売上高は前第3四半期連結累計期間を下回る結果となりました。一方で、モバイル通信インフラサービスやクラウド関連サービス、集合住宅向けインターネットサービス等、当社グループの通信インフラサービス(インターネットインフラカテゴリ)の拡大により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は増加しました。

当第3四半期連結累計期間における国内景気は、同感染症の感染拡大に伴う2度目の緊急事態宣言の影響を受けて経済活動が停滞したことにより、引き続き国内外の動向や経済状況の変動等を注視する必要があるものと捉えております。

以上の結果、売上高は39,301,557千円(前年同四半期比1.9%減)、営業利益は3,202,686千円(前年同四半期比167.3%増)、経常利益は3,318,731千円(前年同四半期比198.0%増)、そして親会社株主に帰属する四半期純利益は2,168,577千円(前年同四半期は238,756千円の損失)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① インフラテック事業

同感染症拡大防止に伴う自宅学習やテレワークの普及により、宅内Wi-Fi環境を通じたオンライン授業や会議、ネット動画視聴、ゲーム等のリッチコンテンツやSNSの利用増加等により固定回線網サービスの原価率は引き続き高いものの、MVNO支援パッケージサービスをはじめとしたモバイル通信インフラサービスやインターネットセキュリティサービスの需要増により売上高及び利益が増加しました。また、DTIが展開するスマートフォンサービス「トーンモバイル」は、ユーザーの拡大を企図し、2020年モデルの現行機種(TONE e20)の端末代金を0円にする「Go Toあんしんスマホ」キャンペーンを開始しました。

以上の結果、売上高は12,015,560千円(前年同四半期比3.6%増)、セグメント利益は1,019,368千円(前年同四半期比135.7%増)となりました。

② 不動産テック事業

集合住宅向けインターネットサービスの順調な推移に加え、第2四半期連結会計期間においてフォーメンバークを連結の範囲から除外したことにより利益が改善し、売上高及び利益が伸長しました。

また、集合住宅向けWi-Fiアクセスポイント「PWINS」や、入居者様の安心・安全なテレワークや動画視聴などの利便性向上とオーナー様の物件価値向上を目指す大規模集合住宅向け専用線型インターネット接続サービス「GIGA Direct Connect」の導入を実施する等、競合他社との差別化を図り、サービス提供戸数の拡大に注力しました。

以上の結果、売上高は11,487,621千円（前年同四半期比20.9%増）、セグメント利益は1,566,908千円（前年同四半期比88.8%増）となりました。

③ アドテック事業

成功報酬型パフォーマンスマーケティングプラットフォーム「afb」の展開に注力するとともに、ビックデータとAIデータ分析技術を用いたインフルエンサーサービス「インフルエンサーDX」ベータ版の提供を開始する等、インフルエンサー事業の拡大にも注力しました。また、美容、金融等の領域において巣ごもり需要を捉える等、同感染症拡大の影響による急減期は脱し、当第3四半期連結累計期間においては総じて回復基調にあります。

以上の結果、売上高は11,616,357千円（前年同四半期比10.5%減）、セグメント利益は548,925千円（前年同四半期比15.0%減）となりました。

④ ヘルステック事業

第2四半期連結会計期間において、当事業を担っているフリービットEPARKヘルスケアについて、当社が保有する全ての株式を2020年10月30日をもって売却したため、同社及び同社子会社を連結の範囲から除外しております。

以上の結果、売上高は2,550,596千円（前年同四半期比5.5%増）、セグメント利益は305,755千円（前年同四半期は255,550千円のセグメント損失）となりました。

⑤ エドテック事業

当第3四半期連結会計期間において、当事業を担っているアルクについて、当社が保有する全ての株式を2020年11月30日をもって売却したため、同社及び同社子会社を連結の範囲から除外しております。

以上の結果、売上高は1,992,314千円（前年同四半期比50.0%減）、セグメント損失は240,835千円（前年同四半期は473,058千円のセグメント損失）となりました。

セグメント別売上高及びセグメント損益

(単位：千円)

区分	売上高	セグメント利益 又は損失(△)
インフラテック事業	12,015,560	1,019,368
不動産テック事業	11,487,621	1,566,908
アドテック事業	11,616,357	548,925
ヘルステック事業	2,550,596	305,755
エドテック事業	1,992,314	△240,835
調整額	△360,892	2,564
合計	39,301,557	3,202,686

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は33,051,507千円となり、前連結会計年度末と比べて9,420,618千円減少しました。これは主として、フリービットEPARKヘルスケア及びアルクを連結の範囲から除外したこと等も影響し、受取手形及び売掛金が2,948,694千円、未収入金が2,468,805千円及びのれんが1,414,414千円減少したことによるものです。

負債合計は20,416,094千円となり、前連結会計年度末と比べて11,207,444千円減少しました。これは主として、フリービットEPARKヘルスケア及びアルクを連結の範囲から除外したこと等も影響し、未払金が2,777,417千円、社債が1,120,000千円、長期借入金が3,399,421千円及びリース債務（固定）が1,134,012千円減少したことによるものです。

純資産合計は、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末と比べて1,786,826千円増加の12,635,413千円となり、この結果、自己資本比率は28.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年12月11日の「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,720,604	15,504,664
受取手形及び売掛金	9,302,677	6,353,982
商品及び製品	749,875	266,346
仕掛品	144,580	233,217
原材料及び貯蔵品	568,273	1,025,658
未収入金	4,309,766	1,840,961
その他	2,513,446	1,311,745
貸倒引当金	△192,960	△156,308
流動資産合計	33,116,264	26,380,267
固定資産		
有形固定資産	2,725,393	3,033,282
無形固定資産		
のれん	1,539,662	125,248
ソフトウェア	712,817	372,484
その他	1,419,522	95,688
無形固定資産合計	3,672,002	593,421
投資その他の資産		
投資有価証券	1,496,278	2,029,947
破産更生債権等	249,014	1,695,600
差入保証金	748,034	551,043
その他	761,280	508,123
貸倒引当金	△296,142	△1,740,177
投資その他の資産合計	2,958,464	3,044,536
固定資産合計	9,355,861	6,671,240
資産合計	42,472,125	33,051,507
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	652,332	289,117
短期借入金	700,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	3,174,430	3,092,081
未払金	8,508,386	5,730,968
未払法人税等	602,232	519,369
引当金	550,957	206,200
その他	3,575,588	1,996,676
流動負債合計	17,763,927	12,234,414
固定負債		
社債	2,920,000	1,800,000
長期借入金	7,433,801	4,034,380
リース債務	3,083,786	1,949,773
役員退職慰労引当金	65,713	78,572
退職給付に係る負債	67,162	42,173
その他	289,147	276,780
固定負債合計	13,859,611	8,181,679
負債合計	31,623,538	20,416,094

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,514,185	4,514,185
資本剰余金	3,122,709	3,121,858
利益剰余金	1,340,613	3,393,245
自己株式	△917,053	△1,854,484
株主資本合計	8,060,454	9,174,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,320	236,987
為替換算調整勘定	7,712	5,602
その他の包括利益累計額合計	19,032	242,590
新株予約権	3,266	780
非支配株主持分	2,765,833	3,217,237
純資産合計	10,848,586	12,635,413
負債純資産合計	42,472,125	33,051,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)
売上高	40,060,885	39,301,557
売上原価	28,469,905	27,018,633
売上総利益	11,590,980	12,282,923
販売費及び一般管理費	10,392,855	9,080,236
営業利益	1,198,125	3,202,686
営業外収益		
受取利息	651	333
受取配当金	8	232
持分法による投資利益	—	4,568
投資有価証券売却益	—	133,058
投資有価証券評価益	285	49,774
助成金収入	3,459	68,154
違約金収入	10,140	27,830
償却債権取立益	12,377	—
製品保証引当金戻入額	15,955	—
事業撤退損失引当金戻入額	19,833	—
その他	24,964	29,693
営業外収益合計	87,676	313,646
営業外費用		
支払利息	122,521	111,910
持分法による投資損失	9,130	—
支払手数料	25,407	54,347
その他	14,963	31,344
営業外費用合計	172,023	197,601
経常利益	1,113,778	3,318,731
特別利益		
固定資産売却益	—	1,658
投資有価証券売却益	24,599	—
関係会社株式売却益	119,610	2,460,071
新株予約権戻入益	—	18
特別利益合計	144,209	2,461,748
特別損失		
減損損失	17,833	427,495
固定資産除売却損	2,312	113,137
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	42,610	—
関係会社株式売却損	6,608	—
事務所移転費用	—	1,262
貸倒引当金繰入額	—	1,496,914
契約移転負担費用	50,000	—
特別損失合計	119,364	2,038,810
税金等調整前四半期純利益	1,138,623	3,741,669
法人税、住民税及び事業税	983,819	938,864
法人税等調整額	14,005	△15,592
法人税等合計	997,825	923,271
四半期純利益	140,798	2,818,398
非支配株主に帰属する四半期純利益	379,554	649,821
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△238,756	2,168,577

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益	140,798	2,818,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△899	225,678
為替換算調整勘定	3,631	△3,670
その他の包括利益合計	2,732	222,007
四半期包括利益	143,530	3,040,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△237,594	2,392,134
非支配株主に係る四半期包括利益	381,124	648,271

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年10月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,000,000株の取得を行ったことにより、自己株式が974,132千円増加しました。また、新株予約権の行使に伴い自己株式48,000株を割当てたことにより、自己株式が36,750千円減少しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,854,484千円となっております。なお、自己株式1,000,000株の取得のうち780,000株（取得価額751,920千円）については、当社の前代表取締役である田中伸明氏からの自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付けであります。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書に追加情報として記載した新型コロナウイルス感染症の影響について、同感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありませんが、アドテック事業の一部の事業については、同感染症の影響が当初の予想よりも長期にわたるものと仮定を変更しております。

また、前連結会計年度の有価証券報告書において記載していた同感染症の影響を受けている事業の一部については、事業分離（子会社株式の譲渡）により、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年5月1日 至 2020年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	インフラテック事業	不動産テック事業	アドテック事業	ヘルステック事業	エドテック事業
売上高					
外部顧客への売上高	11,496,576	9,422,802	12,740,486	2,418,470	3,982,550
セグメント間の内部売上高又は振替高	102,427	76,355	233,021	20	1,770
計	11,599,003	9,499,158	12,973,507	2,418,490	3,984,321
セグメント利益又は損失(△)	432,568	829,820	645,432	△255,550	△473,058

(単位：千円)

	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高			
外部顧客への売上高	40,060,885	—	40,060,885
セグメント間の内部売上高又は振替高	413,596	△413,596	—
計	40,474,481	△413,596	40,060,885
セグメント利益又は損失(△)	1,179,212	18,912	1,198,125

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額18,912千円には、貸倒引当金の組替額等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年5月1日至2021年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	インフラテック 事業	不動産テック 事業	アドテック事業	ヘルステック 事業	エドテック事業
売上高					
外部顧客への売上高	11,929,829	11,399,246	11,432,019	2,550,594	1,989,867
セグメント間の内部売上高 又は振替高	85,730	88,375	184,337	2	2,446
計	12,015,560	11,487,621	11,616,357	2,550,596	1,992,314
セグメント利益又は損失(△)	1,019,368	1,566,908	548,925	305,755	△240,835

(単位:千円)

	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高			
外部顧客への売上高	39,301,557	—	39,301,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高	360,892	△360,892	—
計	39,662,450	△360,892	39,301,557
セグメント利益又は損失(△)	3,200,122	2,564	3,202,686

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,564千円には、貸倒引当金の組替額等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

インフラテック事業において300,939千円、アドテック事業において126,556千円の減損損失を計上しております。これらを含め当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において427,495千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、株式会社フリービットEPARKヘルスケア(現株式会社くすりの窓口)及び株式会社アルクについて、株式を売却し連結の範囲から除外したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの減少額は、ヘルステック事業において1,083,374千円、エドテック事業において63,248千円であります。